

文京区立森鷗外記念館コレクション展「生誕110年・没後30年 森類一ペンを執った鷗外の末子」

会期：2021年9月17日（金）～12月27日（月） 会場：文京区立森鷗外記念館 展示室2

第一章 類の生涯

鷗外とボンチコ

種別	資料名	登録番号／所蔵先
原稿	鷗外自筆『当用日記』 大正6年	複製・200216
書簡	鷗外筆 茉莉、杏奴、類宛 大正7年11月17日付	401184
葉書	鷗外筆 杏奴宛 大正10年11月3日付	501175
葉書	鷗外筆 杏奴宛 大正10年11月9日付	501180
雑誌	「心」3巻9号 日本評論社 昭和25年9月	4-36
書簡	鷗外筆 於菟宛 大正11年5月2日付	401014
参考図版	「国民新聞」 大正11年7月9日	国立国会図書館蔵

絵画を学びにフランスへ

雑誌	「冬柏」3巻2号 冬柏発行所 昭和7年1月	複製・4-35
雑誌	「冬柏」3巻7号 冬柏発行所 昭和7年6月	4-35
書簡	類筆 志げ、茉莉宛 昭和8年頃	L401001
参考図版	《レストラン》 光風会第21回展覧会出品作品絵葉書 下山葉山堂 昭和9年	世田谷文学館蔵
図書	於菟『解剖台に凭りて』 森北書店 昭和17年11月	2-3-5

執筆開始

原稿	類自筆『昭和二十一年日記』 昭和21年	複製・館蔵
雑誌	「向日葵」創刊号 向日館 昭和22年1月	4-35
原稿	類自筆『昭和二十五年日記』 昭和25年	館蔵
雑誌	「世界」86号 岩波書店 昭和28年2月	4-31
図書	類『鷗外の子供たち—あとに残されたものの記録—』 光文社 昭和31年12月	2-3-1

「千朶書房」開店

書簡	類筆 富樫正禅宛 昭和25年11月10日付	L401024
葉書	千朶書房開店通知葉書 昭和26年1月	100161
写真	千朶書房店内にて	複製・L30003
写真	観潮楼跡地の自宅	複製・L300044
資料	千朶書房の紙袋	館蔵

「小説と詩と評論」時代

葉書	木々高太郎筆 類宛 昭和37年12月5日付	L505246
雑誌	「小説と詩と評論」 雪花社、小説と詩と評論社	4-3120
書簡	類筆 木々高太郎宛 昭和41年6月28日付	L401016
葉書	榛葉英治筆 城夏子宛 昭和38年12月10日消印	L509010

晩年、類が愛した日

図書	『ベスト・エッセイ集・誕生日のアップルパイ』 文藝春秋 平成元年8月	3-25-1
雑誌	「新潮」89巻2号 新潮社 平成4年2月	4-32
参考図版	類の墓	—

## 第二章 ペンを執った類

### 詩

種別	資料名	登録番号／所蔵先
雑誌	「群像」5巻10号 講談社 昭和25年10月	4-71
原稿	類自筆『夏』	L200003
原稿	類自筆『叢の壺』 昭和25年3月20日	L200013
原稿	類自筆『少女』	L200004
原稿	類自筆『死』 昭和20年9月2日	L200005
原稿	類自筆『知らぬ間に』 昭和27年4月19日	L200017-2
原稿	類自筆『椿』 木々高太郎添削、昭和40年2月24日付	L200017-1

### 小説

原稿	類自筆 鷗外、志げ作品の書写	L200142、L200189
原稿	類自筆『或る男』 昭和25年2月6日	L200012
原稿	類自筆『百舌鳥』 昭和38年10月	L200025
原稿	類自筆『枯葉』	L200033-2
原稿	類自筆『細き川の流れ』 他筆書込み	L200033-1
原稿	類自筆『鷹の子』	L200042

### エッセー

原稿	類自筆『不肖の子』 昭和25年正月	L200014
原稿	類自筆『万喧嘩引受処』	L200027
原稿	類自筆『散歩』	L200060
雑誌	「鷗外」3号 森鷗外記念会 昭和42年7月	4-72
原稿	類自筆 鷗外の執筆作品メモ	L200121
原稿	類自筆『賓和閣』下書き	L200045

遺品	類愛用のパイプと腕時計	L100001、L100002
絵画	類作 題名不詳 油彩、キャンバス 1943（昭和18）年 [推定]	森哲太郎氏蔵
絵画	類作 題名不詳 油彩、板	山口五百氏蔵

### 類を語り継ぐ

図書	山崎國紀『鷗外の三男坊 森類の生涯』 三一書房 平成9年1月	3-716-5
図書	森類著、山崎國紀編『森家の人びと 鷗外の末子の眼から』 三一書房 平成10年6月	2-75-3
図書	朝井まかて『類』 集英社 令和2年8月	3-795-1

### 謝辞

本展覧会にあたり、多くの方々からご協力を賜りました。  
深く感謝の意を表し、心より御礼申しあげます。

森哲太郎 森恵子 山口五百  
国立国会図書館 世田谷文学館 山口道朗  
(順不同、敬称略)